



CH-1 aeroflex

天井式X線管懸垂器

Ceiling Type X-ray Tube Mount

結 言

病院設備の近代化にともなって 最近天井式X線管懸垂器の利用が盛んになっております。

従来X線管保持器としては、側軌道式・床上レール式・天井と床上にあるレールの間を移動する方式などがおもに利用されておりますが、X線管装置を天井に取りつけますと、床上の場合とことなり頭上の空間を利用して広範囲にわたって操作することができます。

また不要のときは、頭上高く折りたたみ式に格納し室内を有効に利用できます。

用 途

このX線管懸垂器は、各種X線管・X線管容器およびX線高電圧装置と組み合わせて使用し つぎの用途に適します。

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 一般直接撮影 | 7 直接ホトタイマ撮影 |
| 2 リーダ撮影 | 8 間接ホトタイマ撮影 |
| 3 拡大撮影 | 9 フィルムワインダ使用による間接撮影 |
| 4 ブッキ撮影 | 10 間接撮影 |
| 5 連続撮影 | 11 近距離撮影 |
| 6 定はく動位相撮影 | |

特 長

広範な移動

すべての天井式X線管懸垂器のうちでこの懸垂器は最大のX線管移動範囲をもっています。(第3図参照)

軽快な操作

独特の揺動機構を取りいれ、どのような位置でも完全に平衡が保てますので、X線管は手で任意の位置に軽快にセットできます。

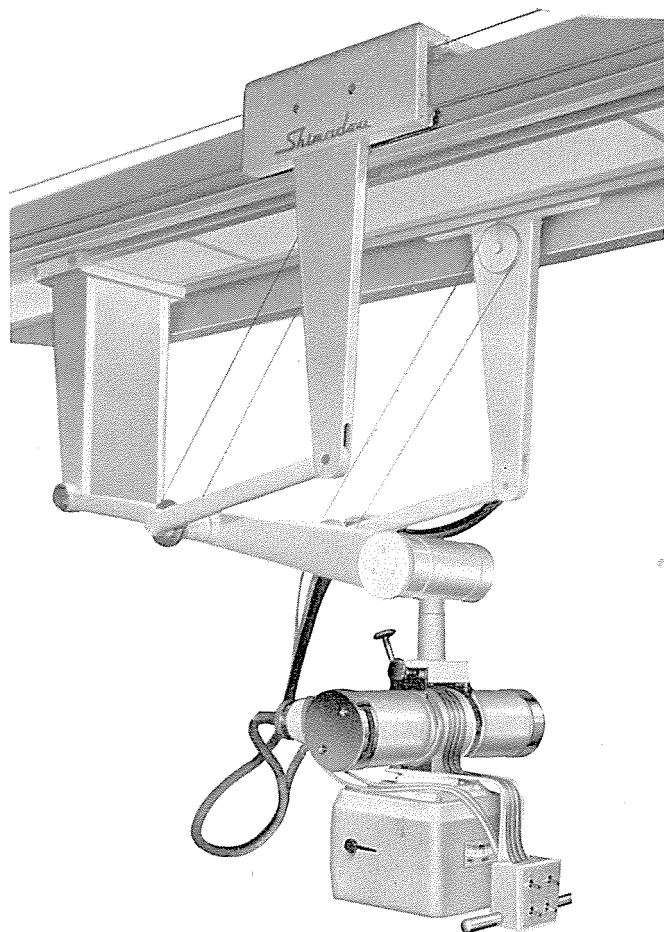
正確な位置決め

レールによる水平直線運動とパンタグラフ式懸垂による上下垂直直線運動、および両者の合成による各方向の任意運動を利用して、正確・じん速に位置決めができます

有効な床面積の利用

不要時にはX線管を頭上高く折りたたみ式に格納しますので床上を有効に利用できます。

とくにこの懸垂器はパンタグラフ式を採用し、従来のピ



第1図 CH-1全景 (サークレックス・Mシャッターつき)

ストン式天井式懸垂器に比べて床上高く折りたためますので低い天井にもじゅうぶん利用できます。

簡単な取り付け方法

レールの取り付けは直接天井に固定せず、取り付け金具に取りつけて固定しますので、簡単に工事を行なうことができます。

明るい照明設備

レールの間に 40W のケイ光灯 4 個を内蔵し、室内照明設備として近代的な感覚を誇っております。

仕 様

このX線管懸垂器の仕様は、つぎのとおりです。

- | | |
|---------------|---------|
| 1 全体の高さ | 2,890mm |
| 2 軌道の全幅 | 3,660mm |
| 3 軌道の長手レールの長さ | 3,500mm |
| 4 軌道の壁レールの長さ | 3,600mm |
| 5 長手方向移動範囲 | 3,030mm |